

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第32号 平成26年11月15日

二試合目も超超貧打が勝利を遠ざける！

10与四死球にWP 5つで勝負有り！

	1	2	3	4	5	6	7	R
K	0	2	0	0	2	2	1	7
G	0	0	0	0	0	0	1	1



11/15(土) 今日2試合目のゲーム、第1試合で1イニングを好投した光希が先発に回りプレイボールとなった。初回は二四死球を出したものの、ホームインは許さず無失点、しかし、二回にゲームが動いた。この日も二打者に2四死球を出すと、その後はWPとPB及びこれに単打が絡まり2点を失点した。その後も三振は取るものの、相変わらず制球が定まらない。5回で光希はマウンドを降り、三振数こそ8を記録したが、それに相反して与四死球6にWP3という内容、二番手を託された祐太郎も、投球後に体が一塁に流れる状態、結果、今期ファースト内容の4四球のWP2という状況であった。

この状態では、攻撃側は得点が容易な状況陥り、守備側においては、何も助けて上げられない状態になる。この状態では守備もリズムも悪くなるので、一つの守備が非常に難しくなってしまう。投手においては、三振奪取も魅力では有るが、それ以上に四死球を出さないのも、投手の魅力と感じ、チーム一体で野球が出来るゲーム運びにしよう。貧打に中にもチャンスは絶対に訪れるのだから・・・

その結果が最終回のノーヒットの得点だから・・・